

令和3年度 第2回シニアリーダー代表者会議 議事録

【日時】 令和4年2月15日（火） 14:00～16:45

【形式】 対面開催

（千葉県蘇我コミュニティセンター ハーモニープラザ分館 2階 講習室 4）

【出席者】

稲毛 区（鈴木様、四方田様）

花見川区（日野様、山田様）

緑 区（吉田様）

中央 区（乳井様、遠藤様）

若葉 区（楠原様、佐藤様）

美浜 区（松田様、長谷川様）

千葉県健康推進課（中崎様、平山様）

シニアリーダー事務局（樋口、鳥飼） 計 15名

【次第】

- ・今年度の実績
- ・各区連絡会の組織運営について
- ・養成講座受講者増加に向けた取り組み
- ・その他

【配布資料】

令和3年度 第2回 シニアリーダー代表者会議資料

【今年度の実績】

（事務局 樋口）

- ・シニアリーダー実登録者数 651名(12期生含む) ※重複登録者含む
→訂正：正しくは826名でした。
- ・実活動者数は各区合計 473名(12期生除く)

10期生の実活動者数が少ない要因としては、養成講座が第10回で終了となってしまったことが考えられる。また、11期生につきましては、コロナ禍で実際

に体操教室へ見学や参加することが難しい中、多くの方を実活動につなげられました。それはシニアリーダーの方々が積極的に養成講座への参加や連絡会等でご周知していただいたからであると存じます。

・再開教室

各区合計 118 教室(2021.12.31 現在)

・体操教室参加者数

2021 年 12 月末にかけて感染者数の減少に伴い、参加者数も徐々に増えてきておりました。

〈討議事項〉

【議題①】

〈他区で新規教室を立ち上げた際の取り扱いについて〉

(事務局 樋口)

特に他区で教室を立ち上げる場合、事前に両連絡会、事務局へご報告いただくことが必須である。会場の管理者との打ち合わせの前に情報をいただき、どのように運営するのか両区の連絡会で事前に方針が決められると良い。

(千葉市健康推進課 中崎様)

他区会場で実施する際の予算については、所属している連絡会での了解が得られていれば他区の会場でも可能である。

(シニアリーダー)

中央区にある会場で活動する場合は、まず中央区の連絡会に入会してもらい、中央区で管理する。

会場所在地を判断の基準とし、会場所在地の連絡会への入会と管理に従う。

(事務局 樋口)

本会以降、住所のある会場の連絡会が管理、事前に連絡会に入会する運びでよいか。

(全区)

上記認識の通り決定。

[体操教室の基本定義について]

(シニアリーダー)

シニアリーダー体操の項目を少しやればシニアリーダー体操教室と呼称しても良いのか。

(シニアリーダー)

シニアリーダー体操教室の定義について考える必要があるのではないか。その理由として、体操教室のなかでシニアリーダー体操が少なく、高齢者で難しい体操教室を中心に体操教室を行っている教室がある。

(シニアリーダー)

当初シニアリーダー体操教室ではなく、別の体操活動をしていたところに脳トレなどシニアリーダー体操を1~2パターン加え、シニアリーダー体操教室としている会場はある。シニアリーダー体操メインではないが、長く続けている近所のシニアの皆さんの通いの場として成り立っている。しかし多くの教室はメインのシニアリーダー体操+αで構成されているので、今後もその方向で指導していきたい。

(事務局 樋口)

シニアリーダー体操を取り入れても、サークル活動が何を目的に行っているかが重要である。体操以外がメインの活動の場合は、あくまでその活動のために集まっている。シニアリーダー体操は準備体操等で一部を取り入れていただくことは問題ないと考えている。シニアリーダー体操の呼称を使うことは、SL体操をメインとする活動でなければならない。

また、体操の中身は一般的な体操の組み合わせのためシニアリーダー体操が特別な体操ではない。シニアリーダー養成講座を受講していただいた方に多く体操教室をやっていただきたいと考えている。

シニアリーダー体操教室として在籍するもシニアリーダー体操を少ししか行っていない教室の方が問題と考えられるため、今後再度検討行う。

【議題②】

〈各区連絡会の運営状況や総会について〉

(美浜区)

役員の選出について：総会で選出する。任期は2年（再任を妨げない）

総会について：通常総会 新会計年度3ヶ月以内に開催する。

：臨時総会 会長が必要と認めたとき、または会員の3分の1以上の請求があったとき開催する。

教室の運営について：面積の狭い美浜区では、SLが地区を交差して活動している。また会場数も少なく、ブロック制は採用していない。連絡会で協議している。

スペシャリストについて：各教室にほぼスペシャリストが配置されている。新規立ち上げは頻繁にあるものではなく支援活動もしていない。今後はスペシャリストのあり方について連絡会で協議し、より良い活動のための方向性を探る。

(若葉区)

役員を選出について：各教室で一人選出していただき、その後役員会で協議させていただいた。

教室の運営について：ブロック制や地区担当制は行っていない。

総会の開催について：総会のやり方については検討中。

スペシャリストについて：組織が大きくなってきており、役員のみでは負担が大きすぎる。そのため、スペシャリストに役割分担を行っていかうと考えている。教室の視察については教室活動のアンケートを行う。また運営方法の検討。

(花見川区)

役員を選出について：役員は会長3年。その他は1年。

教室の運営について：ブロック制は行っている。年1回開催。

総会の開催について：年間計画を発表している。

スペシャリストについて：教室の立ち上げのサポート。養成講座に参加して連絡会で実活動につなげている。

(稲毛区)

役員を選出について：総会で定義。任期は1年。再選あり。

教室の運営について：ブロック制や地区担当制は行っていない。

総会の開催について：5月に総会を実施予定。

スペシャリストについて：スペシャリストは連絡会の時間約 10 分にてワンポイント指導や脳トレの紹介を行っている。養成講座への参加を行って実活動につなげている。

その他：1 月からグループワークを実施している。3 月 4 月で話をまとめるようにしている。

(中央区)

役員の選出について：総会で任期 1 年。ただし、再任は妨げない。

教室の運営について：地区担当制は行っていない。

教室代表者が複数の教室を兼ね、結果としてグループ化されている（地区担当制は取っていないが）。連絡会からの連絡が参加 SL に届くよう、各教室代表者に伝達している。

総会の開催について：年度が終了後 2 ヶ月以内

スペシャリストについて：スペシャリストの再研修を中央区独自で検討している。

(緑区)

役員の選出について：会長・副会長は任期 1 年。再任は避ける。

選出は難渋している。

教室の運営について：4 ブロック制で行い進捗報告・問題のリストアップを行っている。

総会の開催について：総会は年度末。役員会を連絡会の終了後に行い。

議題があった際に行っている。

連絡会で総会を行うと宣言した時に行う。

スペシャリストの運用について：新規教室立ち上げ際のサポート。

〈その他：補助金の使用方法について〉

(シニアリーダー)

若葉区は会場に一律 4500 円仮払い行い。12 月末までに精算をしていただく。使用目的は消耗品等。足りなければ追加、余れば返金している。

若葉区全体では予算が余ったため返金する予定。

(シニアリーダー)

会場毎に費用を割り当てている。活動していない教室は回収する予定。予算が余れば返金させていただく。

(千葉県健康推進課 中崎様)

返金も可能です。お手数をおかけしますが書類作成もお願いします。

ご自身で負担されている費用があれば、補助金交付要綱で認められている範囲内であれば是非ご活用いただきたいと思います。

(シニアリーダー)

会場費用の負担や握力計、体温計、ユニフォームの購入を行っている。連絡会で必要物品を議題にして決定している。

(シニアリーダー)

電話代はどうしているか？

(全区)

電話代は支払っていない。

(千葉県健康推進課 中崎様)

電話代の精算方法について検討を行っています。しかし、現段階では通信費用の算出が難しいため、精算の方法に難渋しております。

(シニアリーダー)

コピー代を印刷代で提出しなければならないが、教室担当のシニアリーダーが消耗品として領収書を提出する方が多い。そのため、消耗品で提出させていただきたい。

(千葉県健康推進課 中崎様)

消耗品として提出してよいか確認させていただきます。

(シニアリーダー)

今年度の大きな買い物はユニフォーム、非接触型体温計。また参加者に連絡のため及び会員への総会案内のための切手、はがきなど少々ストックした。いずれも連絡会で購入。各教室の会計は購入した領収書提出で精算している。仮払いは採用していない。

〈ユニフォームの値段について〉

中央区：累計 150 枚印刷している。単価 2000 円 50 枚

無料で支給し体操教室ではティシャツの着用義務がある。

稲毛区：1200 円の内 600 円は補助金、600 円は負担していただいている。

(シニアリーダー)

年度毎に大口(機材や旗)、次にユニフォームの購入を行っている(全額連絡会負担)、体温計の購入もしている。補助金の使用状況を毎月の連絡会で報告している。

〈事業報告について〉

(千葉県健康推進課 平山様)

活動報告書類等は 3/15 までに提出。

「7号-2 事業報告」の参加者数等については 4/1 迄に修正して出しても可。

事業報告 7-2 の参加者数については、参加している参加者人数を把握している教室はその人数で報告。参加者数が教室開催毎に変動がある教室は、教室開催時の平均参加者数または固定して教室に参加している人数で報告も可能。

【議題③】

〈養成講座受講者増加に向けた取り組み〉

(事務局 樋口)

シニアリーダー養成講座の受講生が減少傾向ではあるが、コロナ禍であっても活動率は維持できている。

→各区連絡会のご協力のもと実活動へ繋ぐことができている

(シニアリーダー)

・高齢の方で元気な方に参加していただき、実活動や役員として協力いただきたい。具体的には民生委員を昔やっていた人やテニスクラブ等に通っている人がよい。そのため、運動を行うような活動場所に貼ることが重要であると考え

る。
・修了した受講生一人一人に連絡をして連絡会に参加。参加できない方は連絡して 2~3 会場へ見学に行っていていただくようにしている。

(千葉県健康推進課 中崎様)

フィットネスクラブは検討していたが、コロナ禍で保留となってしまった。

(事務局 樋口)

シニアリーダーの方でパイプがある方から連絡をいただいて、千葉市の方で許可をいただければ掲示をすることは可能か。

(千葉市健康推進課 中崎様)

市で許可するというよりは、会場管理者の掲示の許可があれば可能である。

元気な参加者増加に向けて、健康診断のデータに基づいて講座受講のご案内の送付やイオン様にポスターを掲載させていただいている。協定を結んでいる関係各所への掲載の検討も考えられる。

(事務局 樋口)

市政だよりやチラシから情報を得る参加者が多い。引き続き掲載のほどお願いします。

(シニアリーダー)

養成講座の開催場所についてどのように取り決めているか。

(千葉市健康推進課 平山様)

例えば、緑区では鎌取地域とあすみが丘地域を交互で行うようにしている。また施設の予約可能状況も勘案して選定している。

〈今後の研修について〉

(シニアリーダー)

各区のスペシャリストを集めた会議や研修の予定はあるか？

(事務局 樋口)

スペシャリストのみの研修も検討しているが、実技指導が課題となった場合、数回研修を行って実技指導が改善することは難しい。日々の経験が重要。

(シニアリーダー)

中央区では独自のフォローアップ研修を検討している。

(シニアリーダー)

事務局が率先して指導しても意識が低い方は難しいので、密に行える連絡会で促していくことが重要であると考えている。

【議題④】

〈交流会について〉

順番の予定では今年度は花見川区・稲毛区で行う予定。

(シニアリーダー)

1区でよいのではいか。2区で一緒に行くと打ち合わせの連絡や日程調整が難しいため、1区で行った方がよいのではないか？

(事務局 樋口)

両区の負担がなければそのように実施しても可能。

(稲毛区・花見川区)

検討して進めます。

【本会での決定事項】

〈他区で新規教室を立ち上げた際の取り扱いについて〉

会場所在地を判断の基準とし、会場所在地の連絡会への入会と管理に従う。

〈今年度の交流会について〉

今年度は花見川区・稲毛区の担当であるが、両区が相談してどちらか 1 区での幹事で実施も可。

以上